

自殺対策講演会

オンライン

のお知らせ

「助けて」が言えない

～SOSを出さない若者に何ができるか～

令和4年の自殺者数は、全国、神奈川県ともに増加し、全国では前年より 874 人増の 21,881 人となりました。これは、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響下、自殺者数が 11 年ぶりに増加した令和2年より多い状況です。神奈川県では、1年間に 1,337 人、1日当たりでは3人以上の方が亡くられており、依然としてたくさんの方の命が失われる深刻な状況が続いています。

全国の学生・生徒の自殺者数のうち、小・中・高校生の自殺者数は増加傾向にあり、令和4年は514人で過去最多という状況でした。また、神奈川県の20歳未満の自殺者数は、46人で、20歳代は188人で、増加傾向にあります。神奈川県ではこのような現状を踏まえ「こころといのちのサポート事業」として様々な自殺対策事業を実施しています。今回のこの講演会は、国立精神・神経医療研究センターの松本俊彦先生を講師としてお招きし、令和を生きる若者の生きづらさや自殺につながりやすい問題等をお話いただき、地域で若者の自殺をなくすために何ができるか、共に考えていきます。

- **開催日時:** 令和5年9月9日(土)
14:00～16:00(開場 13:30～)

- **講師:** 松本 俊彦 氏

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所 薬物依存研究部 部長
同センター病院 薬物依存症センター センター長



- **方法:** Zoom(オンライン)

- **対象及び定員** 神奈川県に在住、在勤の方 100名

- **申込方法** 8/1(火)～8/18(金)

e-kanagawa 電子システムによる申込
定員を超えた場合抽選となります。

- **問合せ先** 神奈川県精神保健福祉センター 相談課
電話 045-821-8822(代)

主催:神奈川県

共催:小田原市・箱根町・真鶴町・湯河原町

国際医療福祉大学小田原保健医療学部

後援:かながわ自殺対策会議

申込 PC 用直接リンク URL

https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/140007-u/offer/offerList_detail?tempSeq=54597

申込スマートフォン用2次元バーコード



自殺対策講演会

【松本俊彦先生略歴】

1993年 佐賀医科大学卒業。神奈川県立精神医療センター医師、横浜市立大学医学部附属病院精神科助手、医局長を経て、2004年に国立精神・神経センター（現、国立精神・神経医療研究センター）精神保健研究所 司法精神医学研究部専門医療・社会復帰研究室長に就任。以後、同研究所 自殺予防総合対策センター自殺実態分析室長、同 副センター長などを歴任し、2015年より同研究所 薬物依存研究部 部長に就任。さらに2017年より国立精神・神経医療研究センター病院 薬物依存症センター センター長を兼務

【主 著】

「自傷行為の理解と援助」（日本評論社、2009）
「アディクションとしての自傷」（星和書店、2011）
「自傷・自殺する子どもたち」（合同出版、2014）
「アルコールとうつ、自殺～『死のトライアングル』を防ぐために」（岩波書店、2014）
「自分を傷つけずにはいられない」（講談社、2015）
「もしも「死にたい」と言われたら—自殺リスクの評価と対応」（中外医学社、2015）
「薬物依存症」（筑摩書房、2018）
「誰がために医師はある—クスリとヒトの現代論（みすず書房、2021）
「世界—やさしい依存症入門」（河出書房新社、2021）

●お役立ち情報●

相談窓口一覧（こころとからだ）

相談窓口（死にたい気持ち）



神奈川県自殺対策キャラクター
いちょうくんやまゆいちゃん



『気づいてください！体と心の限界サイン』

九都県市「自殺対策キャンペーン」統一標語

（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市・相模原市）

9月は九都県市自殺対策強化月間です